

東京都文京区

白山三丁目 6～7 番先（小石川植物園内貝塚・原町遺跡）地点  
における埋蔵文化財試掘調査報告書

2011 年 3 月

文京区役所

大成エンジニアリング株式会社

埋蔵文化財調査部

## 概要

業務名	白山三丁目 6～7 番先 (小石川植物園内貝塚・原町遺跡) 地点 における埋蔵文化財試掘調査報告書
所在地	文京区白山三丁目 6～7 番先
トレンチ数	11 箇所
試掘面積	78.5 m <sup>2</sup> (1m×5.4m1 箇所、1.6m×3.4m1 箇所、1.9m×4.8m1 箇所、 1.4m×4.4m1 箇所、1.3m×3.6m1 箇所、1.8m×2.7m1 箇所、 1m×2.8m1 箇所、2m×2.1m1 箇所、1.1m×3m1 箇所、 2m×3.2m1 箇所、1.3m×2m1 箇所)
調査期間	平成 23 年 3 月 22 日～3 月 25 日
調査目的	道路拡幅に伴う埋蔵文化財の存否確認
事業者	文京区役所
調査主体	文京区教育委員会教育推進部庶務課文化財保護係 池田悦夫 林 純子 門田大悟 丹野祥枝
支援機関	大成エンジニアリング株式会社 調査員 宇井 義典 土本 医 高橋直樹 広田 健

第 1 表 各トレンチ検出遺構および出土遺物ならびに遺構確認面検出情報

トレンチ 番号	地表から遺構確認 面までの深さ	遺構確認面	検出遺構(時期)	出土遺物
1	0.45～0.95m	盛土遺構上面	同一と想定される盛土遺構 1 基(近世)	表土:近世 1 点、近現代 1 点
2	0.60～0.90m	盛土遺構上面		表土:近世 2 点 サブトレンチ:近世 6 点、縄文 5 点
3	0.60～0.70m	盛土遺構上面		表土:近世 2 点、近現代 3 点 サブトレンチ:近世 2 点、近現代 2
4	0.45～0.70m	盛土遺構上面		表土:近世 4 点、近現代 1 点 サブトレンチ:近世 4 点
5	0.40～1.10m	盛土遺構上面		表土:近世 16 点、近現代 12 点
6	0.35～0.80m	盛土遺構上面	盛土遺構 1 基(近世)	表土:近現代 4 点
7	0.25～0.60m	盛土遺構上面	盛土遺構 1 基(近世)	表土:近現代 3 点
8	1.30～1.60m	武蔵野台地標準堆積土層Ⅱ層	土坑 1 基(縄文) ピット 2 基(縄文)	表土(攪乱):近現代 41 点

9	0.20~0.40m	武蔵野台地標準堆積土層IV層	盛土遺構(近世)	表土:近世3点
10	0.30~0.45m	武蔵野台地標準堆積土層IV層	溝状遺構1基(近世) 土坑3基(近世)	表土:近世3点、近現代3点、縄文1点、 弥生1点
11	0.70m	武蔵野台地標準堆積土層IV層	溝状遺構1基(近世) 土坑2基(近世・縄文)	旧石器時代尖頭器1点

## 周辺の歴史と環境

本調査地点が位置する白山台地は、東側を指ヶ谷の崖によって開析され本郷台地と分かれた。西側は小石川(千川)開析により小石川台地と分かれ、現在の南西側に延びる舌状台地が形成された。小石川植物園は白山台地の南西側縁辺部にあり、標高10~24mの谷地から台地にかかる斜面地に広大な面積を有し、希少な植物や庭園など歴史ある面影を今も残している。今回の調査対象範囲は植物園の南から東の縁辺に沿って設定されており、谷地から台地まで斜面を登るような調査となった。

文京区登録遺跡番号81である「小石川御薬園跡」は、江戸初期の段階から複数回にわたる土地利用の変遷を経ている。概略を記すと、少なくとも元和2(1616)年には白山社・小石川百姓地として、慶安5(1652)年から館林藩下屋敷として利用された。天和元(1681)年に小石川御殿に転換され、正徳4(1714)年からは大名・旗本屋敷および幕臣屋敷地・御薬園として利用され明治に至る。近接する白山御殿跡や東京大学による発掘調査では、幅15m以上の白山御殿の惣囲が検出され、18世紀前葉に廃絶されたと想定されている。

## 調査の経過

- 3月22日 トレンチ1から5の表土掘削を行う。
- 23日 トレンチ4の拡張、トレンチ5から9の表土掘削を行う。
- 24日 トレンチ8・10・11の表土掘削を行う。トレンチ1~11の平面図および断面図の作成。
- 25日 埋め戻し

### トレンチ 1 (第 1~3 図、写真図版 1)

1 m×5.4 mのトレンチを設定し、人力で表土を掘削したところ、地表から GL-0.45~0.95 mで硬化した生活面を検出した。そこでトレンチ西側を深掘りしたが、生活面から-1.00 mまで盛土が続いており、自然堆積層は確認できなかった。

**検出遺構および時期** 盛土遺構 1 基 (近世) 合計 1 基

自然堆積層は確認できなかったが、2 層以下は盛土と考えられる。2 層は 0.05~0.10 mの厚さでほぼ水平に堆積している。土質は灰黄褐色砂質粘土を主体としており、小礫を多く含んでいる。硬く締まっており生活面 (硬化面) であったと考えられる。トレンチ西側の深掘りで水がしみでてきた。

**出土遺物** 表土から瀬戸・美濃産灰釉徳利が出土している。

**所見** 瀬戸・美濃産灰釉徳利の製作年代が 18 世紀中葉から 19 世紀中葉となるため、表土が堆積した年代は 19 世紀中葉以降と推定される。そのため、盛土遺構の構築は 19 世紀中葉以前の可能性が考えられる。

### トレンチ 2 (第 1~3 図、写真図版 1)

1.6 m×3.4 mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ地表から GL-0.60~0.90 mで硬化した生活面を検出した。そこでトレンチ北側および東側の壁際に深掘りをしたが、硬化面から -0.50 mまで盛土が続いており、自然堆積層は確認できなかった。東側のやや深いサブトレンチの底面で堆積土にやや水分が多い状況を確認した。

**検出遺構および時期** 盛土遺構 1 基 (近世) 合計 1 基

自然堆積層は確認できなかったが、2 層以下は盛土と考えられる。2 層はトレンチ 1 の 2・3 層に対応し、層厚は 0.10~0.20 mと比較的薄い。東側に向い緩やかな波状を呈すが、ほぼ水平な堆積状況となっている。土質は明黄褐色粘土であり、小礫は微量に含むが灰色粘土を含んでいる。硬く締まっており生活面 (硬化面) であったと考えられる。

**出土遺物** 表土から京・信楽産半球形碗が出土している。東側サブトレンチから京焼小坏、縄文時代中期加曾利 E 式、後期称名寺式などが出土している。

**所見** サブトレンチから出土した京焼小坏の製作年代が 19 世紀代となるため、盛土遺構の構築年代も同様に 19 世紀代と考えられる。

### トレンチ 3 (第 1・2・4 図、写真図版 1)

1.9 m×4.8 mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表から GL-0.60~0.70 mの深さで硬化した生活面を検出した。そこでトレンチ西側で深掘りをしたが、硬化面から -0.40 mの深さまで盛土が続いており、自然堆積層は確認できなかった。また、深掘りした底面で水がしみでてきた。

**検出遺構および時期** 盛土遺構 1 基 (近世) 合計 1 基

自然堆積層は確認できなかったが2層以下は盛土と考えられる。2層はトレンチ1の2・3層およびトレンチ2の2層に対応するが、2層以下は確認していない。少なくとも0.40m以上の厚さがあり、東側に向かい緩やかな波状となるが、ほぼ水平な堆積状況である。土質は明黄褐色粘土であり、小礫や灰色粘土を含む状況は類似する。硬く締まっており生活面（硬化面）であったと考えられる。

**出土遺物** 表土から近現代陶磁器、瀬戸・美濃産陶器捏鉢、同水鉢が出土している。硬化面中から焼塩壺蓋、江戸式の平瓦あるいは棧瓦の瓦当が出土している。

**所見** 焼塩壺蓋が泉州産と推定されるため、盛土遺構は18世紀中葉以降に構築された可能性が考えられる。

#### トレンチ4（第1・2・4図、写真図版2）

1.4m×4.4mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表からGL-0.45～0.70mの深さで硬化した生活面を検出した。そこでトレンチ西側で深掘りしたが、生活面から-0.65mの深さまで盛土が続いており、自然堆積層は確認できなかった。

**検出遺構および時期** 盛土遺構1基（近世） 合計1基

自然堆積層は確認できなかったが2層以下は盛土と考えられる。2層はトレンチ1の2・3層およびトレンチ2・3の2層に対応する。2層は0.30～0.45mの厚さがあり、北壁を見るとほぼ水平な堆積状況となっている。西壁では2層が南側に若干傾斜し、凹凸が見られる。土質は暗黄褐色粘土であり、暗褐色土・黄色砂層状堆積を呈し、小礫を含む状況は類似する。硬く締まっており生活面（硬化面）であったと考えられる。

**出土遺物** 表土から信楽産灯明皿、同小碗、江戸在産土器焼塩壺、堺・明石産炆器搦鉢が出土している。サブトレンチからは肥前産磁器小坏、同磁器輪花小皿、瀬戸・美濃産陶器丸形碗が出土している。

**所見** 18世紀後葉から19世紀中葉に製作された肥前産磁器小坏、瀬戸・美濃産陶器丸形碗などから考えると、盛土遺構は19世紀中葉以降に構築されたと考えられる。

#### トレンチ5（第1・2・5図、写真図版2）

1.3m×3.6mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表からGL-0.40～1.10mの深さで硬化した生活面を検出した。生活面を確認した後に、全体的に掘り下げたが、自然堆積層は確認できなかった。

**検出遺構および時期** 盛土遺構1基（近世） 合計1基

自然堆積層は確認できなかったが、2層以下は盛土と考えられる。2・3層はトレンチ1の2・3層およびトレンチ2・3・4の2層に対応する。当トレンチの2層は暗褐色混土礫であり、小礫を多量に含む状況が認められ、硬く締まった生活面（硬化面）と考えられる。西側断面を見ると2・3層に凹凸があるため、後世に削平されたと考えられる。

**出土遺物** 表土から近現代陶磁器、肥前産外面青磁染付碗、同蓋物、同広東碗、瀬戸・美濃産灰釉徳利、同尾呂徳利、同小坏、京焼端反形碗が出土している。

**所見** 瀬戸・美濃系陶器灰釉徳利の製作年代が19世紀中葉となるため、盛土遺構が構築された年代は、19世紀中葉以降の可能性が考えられる。

#### トレンチ6 (第1・2・6図、写真図版2・3)

1.8m×2.7mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表からGL-0.35~0.80mの深さで盛土を検出した。そこでトレンチ南側に深掘りしたが、少なくとも1.20m以上の盛土が続いており、自然堆積層を確認できなかった。

**検出遺構および時期** 盛土遺構1基 (近世) 合計1基

トレンチ1から5で確認された生活面(硬化面)は検出されなかった。南壁東側に方形の掘り込みを確認したが、表土の下から盛土を掘り込む状況が確認されたため、近世以降の攪乱と考えられる。東壁では4層の明黄褐色粘土層を皿状に掘り込むような状況が認められるが、遺構というよりも盛土の一部と推定される。

**出土遺物** 表土から瀬戸・美濃産磁器碗、瓦質土器植木鉢が出土している。

**所見** 出土遺物の製作年代から、表土が堆積した時期は19世紀以降の可能性が考えられる。

#### トレンチ7 (第1・2・7図、写真図版3)

1m×2.8mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表からGL-0.25~0.60mの深さで盛土を検出した。表土を掘削した後に、トレンチの中央に自然堆積層と思われる地層を検出したが、土質など自然堆積層と異なる様子が認められたため、0.30m程度の掘り下げを行った。その結果、自然堆積層と思われたものは盛土の一部であることを確認することが出来た。さらにトレンチ東側に深掘りを行ったところ、盛土の上部から0.90mの深さで自然堆積層を検出した。

**検出遺構および時期** 盛土遺構1基 (近世) 合計1基

トレンチ西側で、表土の下で盛土を掘り込んでいる状況が認められた。北壁断面の様子から近世以降の攪乱と考えられる。東側でも表土の下で盛土を掘り込む状況が認められる。調査範囲が狭小のため確実ではないが、遺構の可能性が想定される。

**出土遺物** 表土から近現代陶磁器、瀬戸・美濃産磁器碗が出土している。

**所見** 平面・断面の状況を考慮すると自然堆積層の上面に盛土遺構が構築されている。表土から瀬戸・美濃産磁器碗が出土しているが、近現代陶磁器も認められるため、表土は幕末以降に堆積した可能性が考えられる。

#### トレンチ8 (第1・2・7図、写真図版3)

2m×2.1mのトレンチを設定し、人力で表土の掘削および精査を行ったところ、地表か

ら GL-1.30~1.60mの深さで自然堆積層を検出した。北壁西側に一部にⅡ層を確認した。

**検出遺構および時期** 土坑1基(縄文) ピット2基(縄文) 合計3基

**出土遺物** 攪乱中から近現代陶磁器、土器五徳、「瀬 826」の統制番号のある瀬戸・美濃産磁器碗などが出土している。

**所見** 表土から自然堆積層までは近現代の攪乱であった。「瀬 826」の統制番号のある瀬戸・美濃産磁器碗は昭和16~20年に製作されていることから、それ以降に廃棄されたものと推定される。

#### トレンチ9(第1・2・8図、写真図版3)

1.1m×3mのトレンチを設定し、人力で表土の掘削および精査を行ったところ、地表から GL-0.60~1.00mの深さで自然堆積層を検出した。武蔵野台地標準堆積土層はⅣ層まで削平されている状況であった。

**検出遺構および時期** 盛土遺構1基(近世) 合計1基

**出土遺物** 表土から近世丸瓦が出土している。

**所見** 盛土遺構を確認するが、構築年代は不明である。

#### トレンチ10(第1・2・8図、写真図版3・4)

2m×3.2mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表から GL-0.30~0.45mの深さで遺構確認面を検出した。遺構確認面から0.10mの深さで、武蔵野台地標準堆積土層Ⅳ層を検出した。

**検出遺構および時期** 溝状遺構1条(近世) 土坑3基(近世) 合計4基

**出土遺物** 表土から肥前産磁器小坏、瀬戸・美濃産陶器灰釉徳利、縄文土器加曾利E底部が出土している。

**所見** トレンチの大部分で遺構が検出されている。遺構の時期は明らかではないが、縄文土器が見られることから、周囲に縄文時代の遺構が存在する可能性がある。

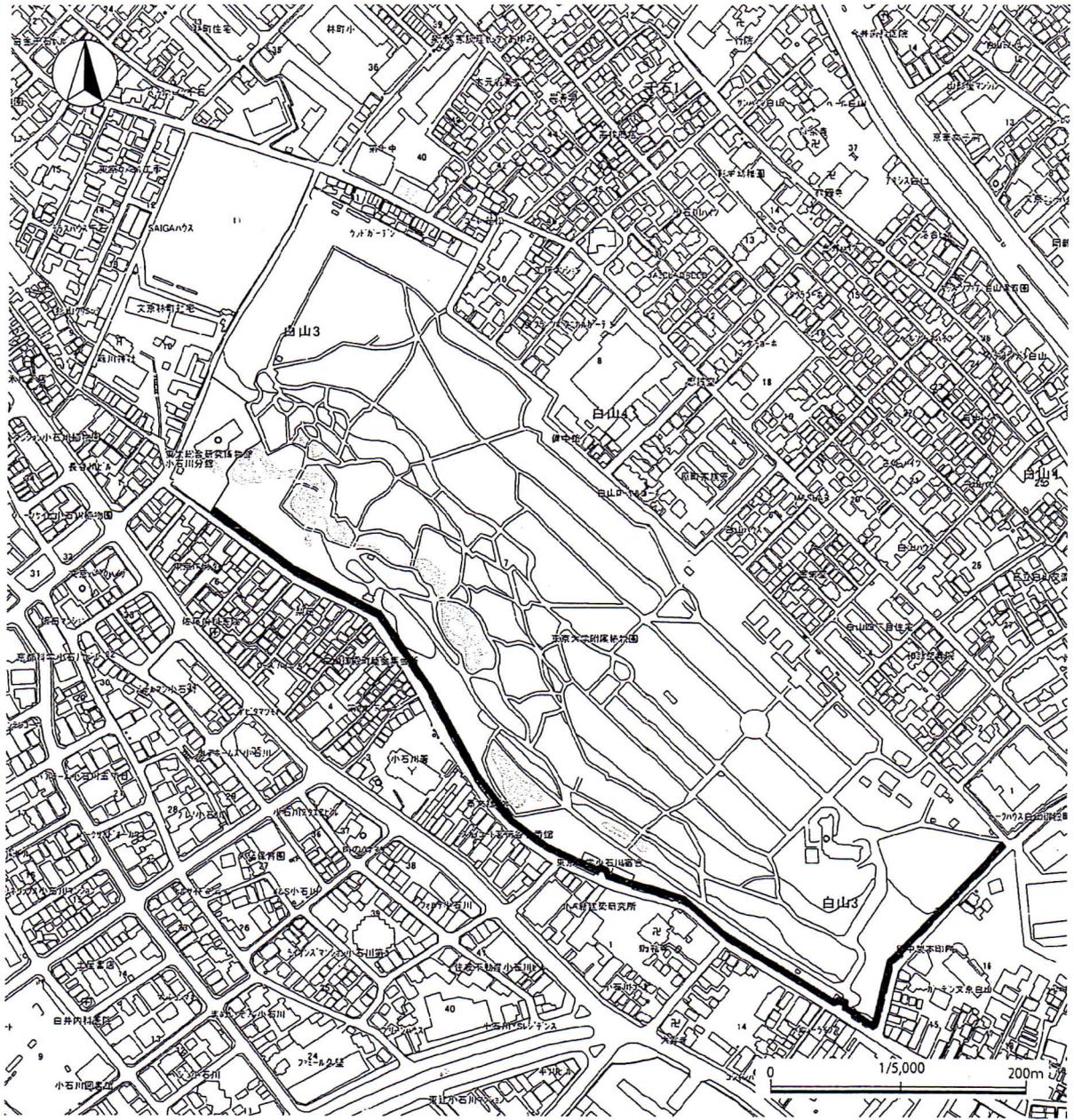
#### トレンチ11(第1・2・9図、写真図版4)

1.3m×2mのトレンチを設定し、小型重機で表土を掘削した後に、人力で精査を行ったところ、地表から GL-0.70mの深さで遺構確認面を検出した。遺構確認面から0.15mの深さで、武蔵野台地標準堆積土層Ⅳ層を検出した。

**検出遺構および時期** 溝状遺構1条(近世) 土坑2基(縄文1基、近世1基) 合計3基

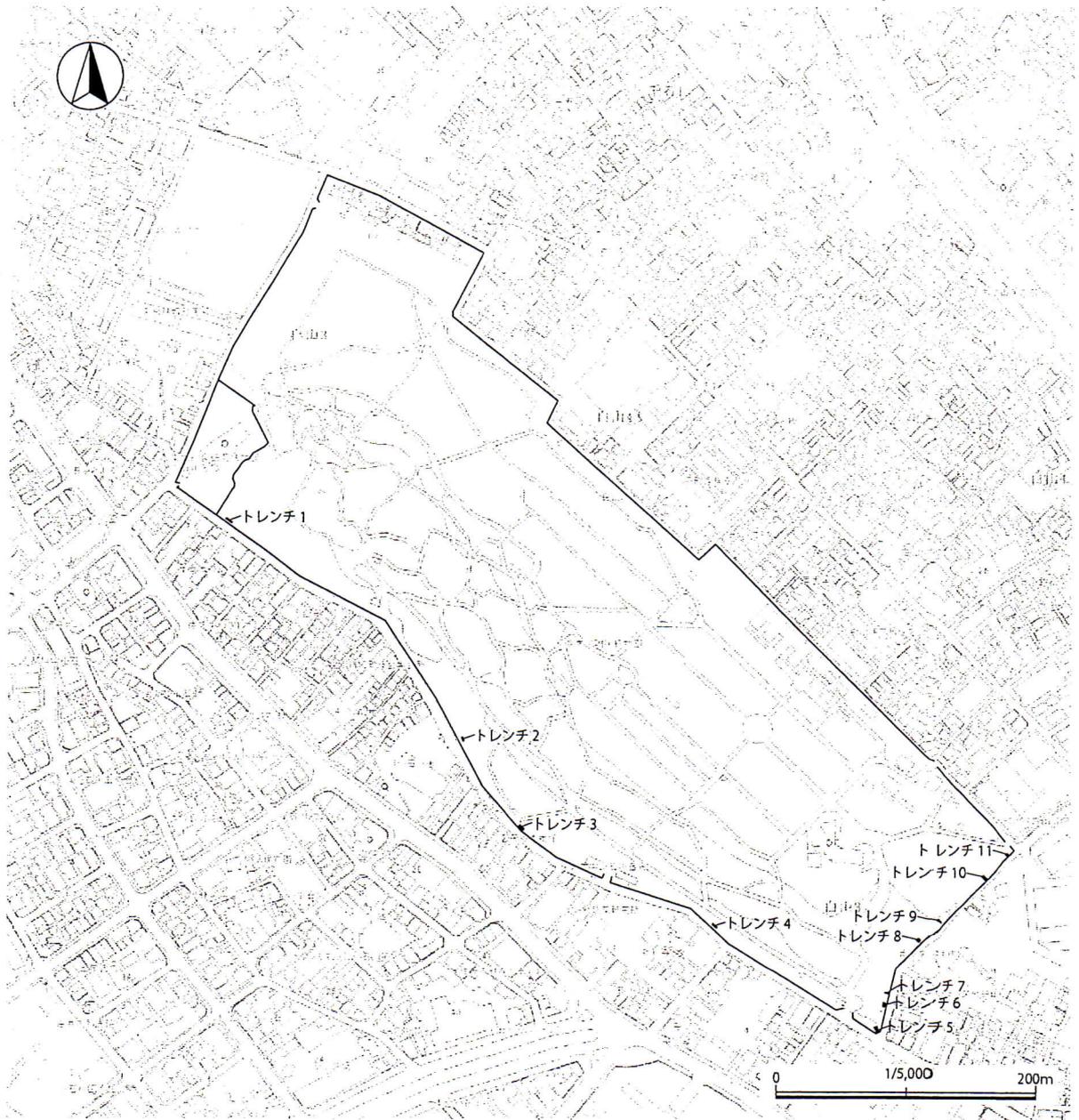
**出土遺物** 旧石器時代の黒曜石製尖頭器が出土している。

**所見** トレンチの大部分で遺構が検出されている状況が確認されているが、遺物がほとんど出土していないため、遺構の時期は明らかではない。自然堆積層上面から黒曜石製尖頭器が出土している。黒曜石製縦長剥片を素材として製作しており、製作技術的にはⅢ層中にみられる尖頭器石器群相当の石器として位置付けられる。



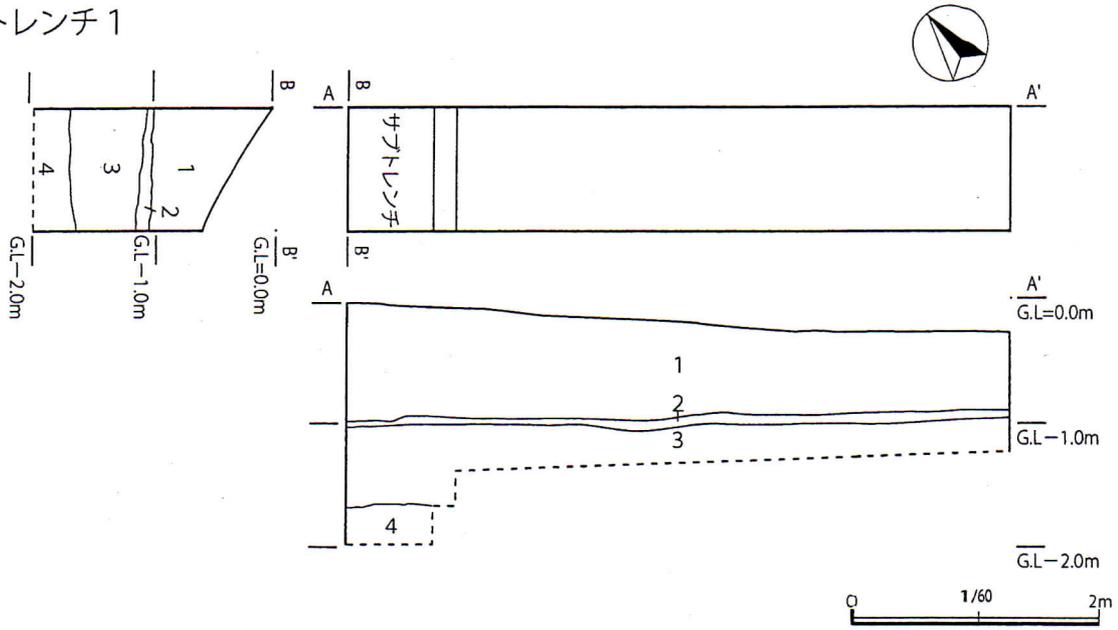
凡例  
 〰️ : 対象範囲

第1図 試掘調査位置図および試掘対象範囲



第2図 トレンチ位置図

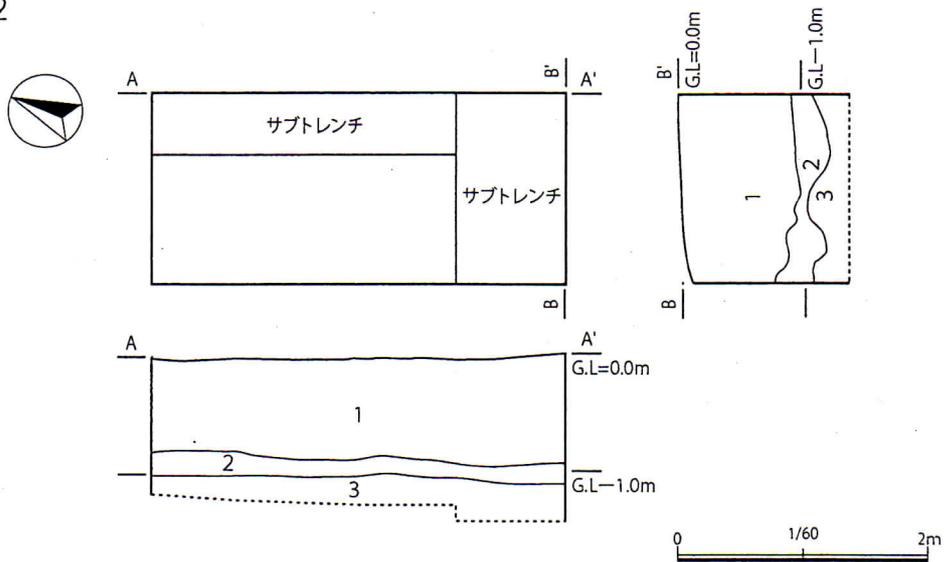
### トレンチ1



#### トレンチ1

- |            |                                |           |
|------------|--------------------------------|-----------|
| 1 暗褐色土     | ローム粒微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫少量含む。表土 | 締りやや弱・粘性弱 |
| 2 灰黄褐色砂質粘土 | ロームブロック少量含む。小礫多く含む。硬化面         | 締り強・粘性強   |
| 3 明黄褐色砂質粘土 | 小礫多く含む。硬化面                     | 締り強・粘性やや弱 |
| 4 暗褐色土     | 暗褐色粘土含む。小礫少量含む。硬化面 湧水          | 締り強・粘性強   |

### トレンチ2

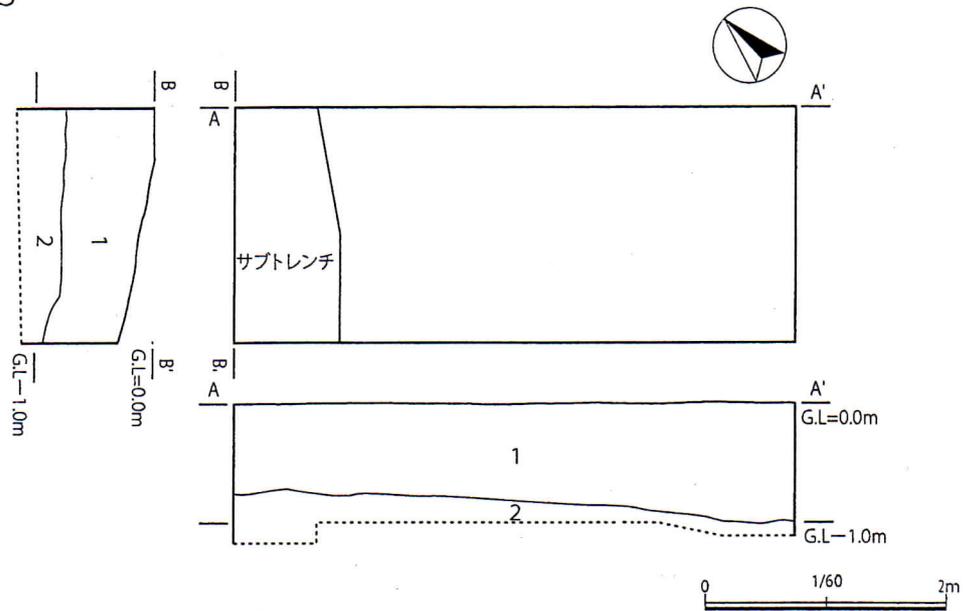


#### トレンチ2

- |          |   |           |
|----------|---|-----------|
| 1 灰褐色土   | ローム粒微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫含む。表土                      | 締りやや強・粘性強 |
| 2 明黄褐色粘土 | ロームブロック $\phi$ 2~5mm 含む。灰色粘土含む。炭化物微量含む。小礫微量含む。硬化面 | 締り強・粘性強   |
| 3 暗褐色粘土  | 赤色酸化ブロック含む。炭化物微量含む。小礫少量含む。                        | 締り強・粘性強   |

第3図 トレンチ1・2

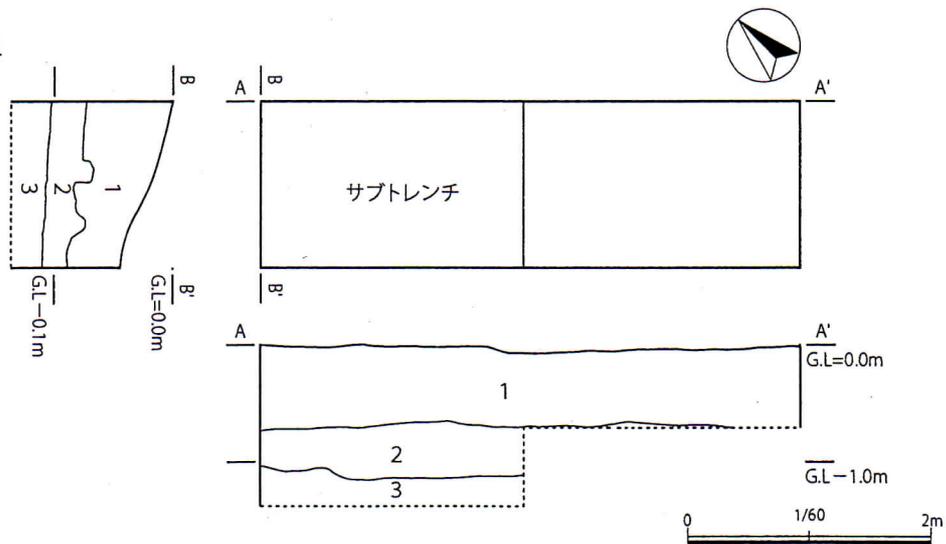
### トレンチ3



#### トレンチ3

- 1 灰暗褐色土 ロームブロック微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫少量含む。表土 締り強・粘性強
- 2 明黄褐色粘土 砂粒少量含む。灰色粘土含む。黒褐色・褐色粘土ブロック少量含む。小礫少量含む。  
硬化面 締り強・粘性強

### トレンチ4

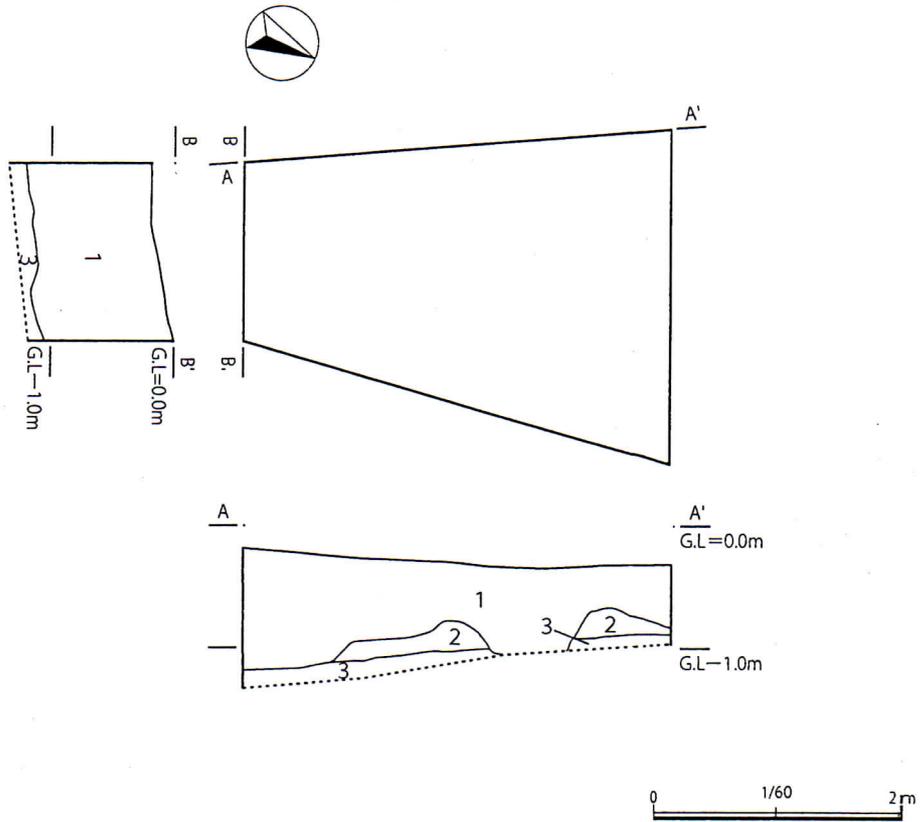


#### トレンチ4

- 1 暗褐色土 ローム粒微量含む。ロームブロック  $\phi$  0.5mm 少量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫少量含む。  
2層との境に小礫多い。表土 締りやや強・粘性あり
- 2 暗黄褐色粘土 暗褐色土・黄色砂層状堆積。炭化物・焼土粒微量含む。小礫多く含む。硬化面  
締り強・粘性強
- 3 暗褐色土 ローム粒・ロームブロック含む。炭化物微量含む。白色粘土微量含む。小礫少量含む。硬化面  
縦に赤褐色酸化痕跡認められる。 締り強・粘性強

第4図 トレンチ3・4

トレンチ 5

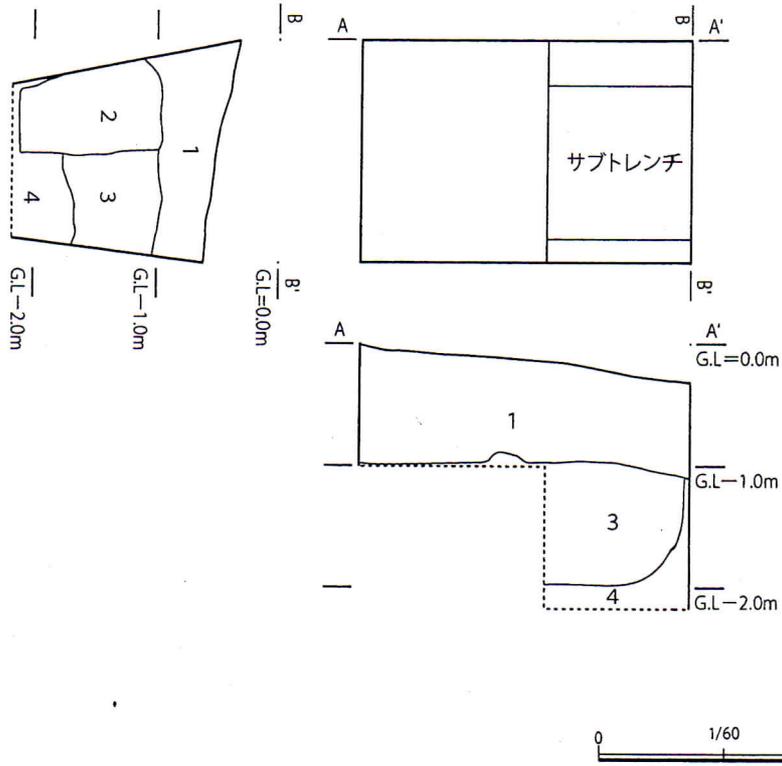


トレンチ 5

- |   |        |                                       |           |
|---|--------|---------------------------------------|-----------|
| 1 | 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック微量含む。炭化物・焼土微量含む。小礫少量含む。表土 | 締りあり・粘性あり |
| 2 | 暗褐色混土礫 | 礫多量含む。炭化物微量含む。褐色粘土・暗褐色土版築状。硬化面        | 締り強・粘性強   |
| 3 | 明黄褐色粘土 | 小礫含む。砂粒少量含む。版築状                       | 締り強・粘性強   |

第5図 トレンチ 5

# トレンチ6

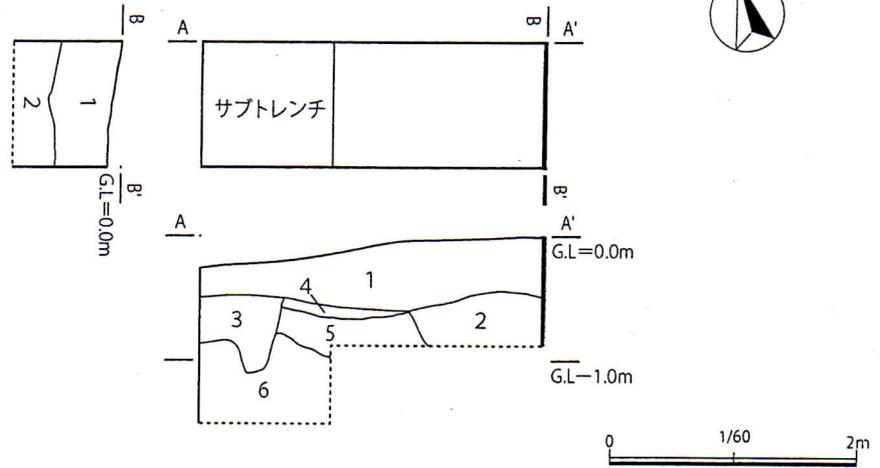


## トレンチ6

- |   |        |  |           |
|---|--------|--|-----------|
| 1 | 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫少量含む。表土 | 締り弱・粘性やや弱 |
| 2 | 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック少量含む。明褐色粘土ブロック少量含む。小礫少量含む。 | 締り強・粘性やや強 |
| 3 | 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック微量含む。明黄褐色粘土ブロック含む          | 締りやや弱・締り強 |
| 4 | 明黄褐色粘土 | 小礫含む。                                  | 締り強・粘性強   |

第6図 トレンチ6

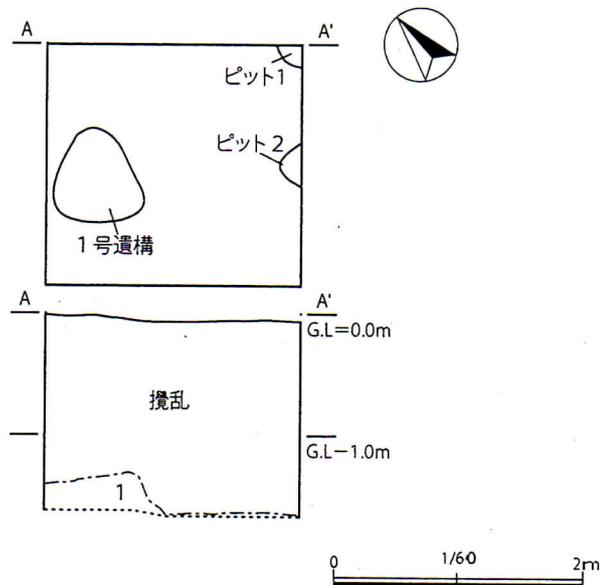
## トレンチ7



### トレンチ7

- |          |   |            |
|----------|---|------------|
| 1 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫少量含む。        | 締り弱・粘性弱    |
| 2 暗褐色土   | ローム粒・ロームブロック $\phi$ 1~3mm 微量含む。炭化物・焼土粒微量含む。 | 締り弱・粘性あり   |
| 3 灰褐色土   | 砂粒少量含む。焼土粒含む。                               | 締りあり・粘性強   |
| 4 灰褐色砂質土 | ローム粒少量含む。炭化物微量含む。砂粒多く含む。小礫含む。灰溜あり。          | 締りあり・粘性やや強 |
| 5 黄褐色土   | ローム粒・ロームブロック多量含む。小礫少量含む。                    | 締りあり・粘性強   |
| 6 褐色土    | ローム粒・ロームブロック含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫含む。            | 締りあり・粘性やや強 |

## トレンチ8

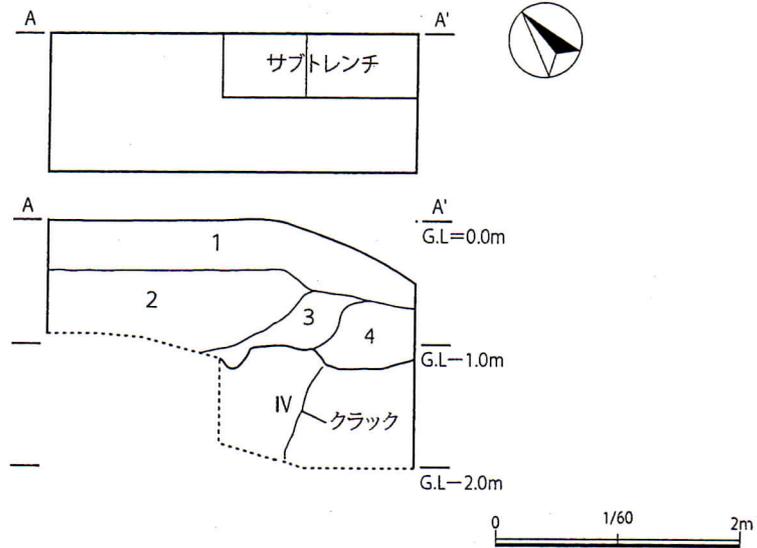


### トレンチ8

- |        |   |         |
|--------|---|---------|
| 1 暗褐色土 | ローム粒微量含む。ロームブロック $\phi$ 0.5mm 含む。焼土粒微量含む。 | 締り強・粘性強 |
|--------|---|---------|

第7図 トレンチ7・8

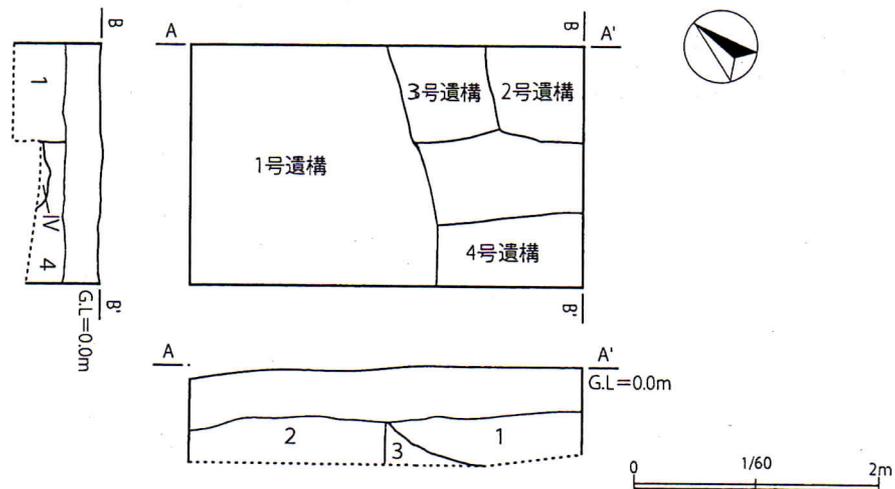
# トレンチ9



## トレンチ9

- 1 暗褐色土    ローム粒含む。ロームブロックφ1~5mm少量含む。炭化物・焼土粒微量含む。表土  
縮り弱・粘性弱
- 2 褐色土    ローム粒含む。ロームブロックφ10~20mm少量含む。小礫微量含む。縮りあり・粘性やや強
- 3 黒褐色土    ローム粒含む。ロームブロックφ5~10mm少量含む。白色粘土ブロック微量含む。  
縮りやや強・粘性やや弱
- 4 黄褐色土    ロームブロック多量含む。自然堆積層の境に暗褐色土層状に堆積。  
縮りやや強・粘性強

# トレンチ10

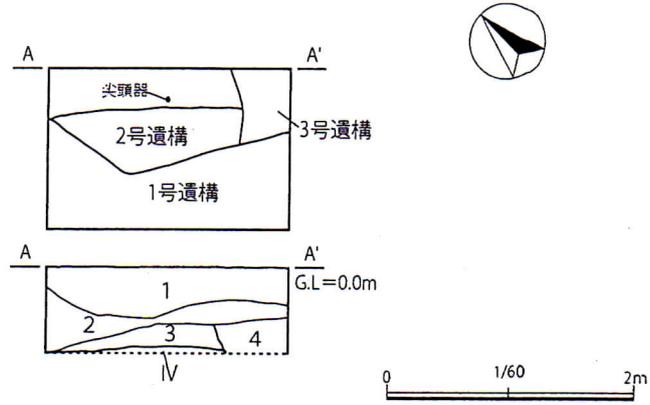


## トレンチ10

- 1 暗褐色土    ローム粒・ロームブロック含む。炭化物・焼土粒微量含む。表土    縮り弱・縮りやや弱
- 2 褐色土    ローム粒多く含む。ロームブロックφ5~10mm含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫微量含む。  
縮りやや弱・粘性やや強
- 3 暗黄褐色土    ローム粒・ロームブロック多く含む。焼土粒微量含む。    縮りあり・粘性強
- 4 暗黄褐色土    ローム粒含む。ロームブロックφ5~20mm多く含む。    縮りあり・粘性強
- 5 暗褐色土    ローム粒含む。ロームブロックφ2~10mm少量含む。炭化物・焼土粒微量含む。  
縮りやや強・粘性やや弱

第8図 トレンチ9・10

# トレンチ11



## トレンチ 11

- |        |                                    |          |
|--------|------------------------------------|----------|
| 1 暗褐色土 | ロームブロック含む。炭化物・焼土粒微量含む。表土           | 締り弱・粘性弱  |
| 2 黒褐色土 | ローム粒・ロームブロック含む。炭化物・焼土粒微量含む。小礫微量含む。 |          |
| 3 黄褐色土 | ローム粒・ロームブロック多量含む。褐色土少量。            | 締り弱・粘性弱  |
| 4 暗褐色土 | ローム粒含む。ロームブロックφ 2~10mm含む。          | 締りあり・粘性強 |



1. トレンチ 1 完掘 (東から)



2. トレンチ 1 北壁断面 (南東から)



3. トレンチ 2 完掘 (南東から)



4. トレンチ 2 北壁断面 (南西から)



5. トレンチ 2 出土遺物



6. トレンチ 3 完掘 (東から)



7. トレンチ 3 北壁断面 (南東から)



8. トレンチ 3 出土遺物



9. トレンチ 4 完掘 (東から)



10. トレンチ 4 北壁断面 (南東から)



11. トレンチ 4 出土遺物



12. トレンチ 5 完掘 (北西から)



13. トレンチ 5 南壁断面 (北東から)



14. トレンチ 5 出土遺物



15. トレンチ 6 完掘 (南西から)



16. トレンチ 6 東壁断面 (南西から)



17. トレンチ6 出土遺物



18. トレンチ7 完掘 (西から)



19. トレンチ7 北壁断面 (南から)



20. トレンチ8 完掘 (南から)



21. トレンチ8 北壁断面 (南から)



22. トレンチ9 完掘 (西から)



23. トレンチ9 北壁断面 (南西から)



24. トレンチ10 完掘 (西から)



25. トレンチ 10 南壁断面 (北から)



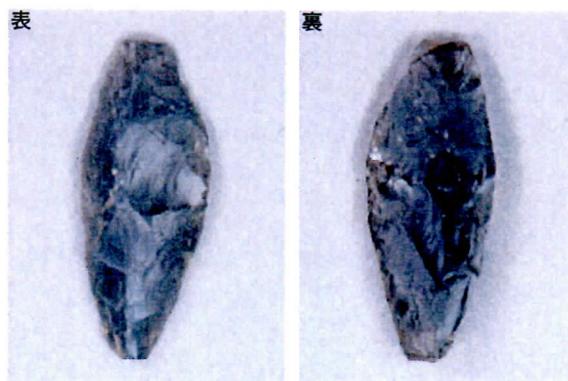
26. トレンチ 10 出土遺物



27. トレンチ 11 完掘 (西から)



28. トレンチ 11 北壁断面 (南から)



29. トレンチ 11 出土遺物